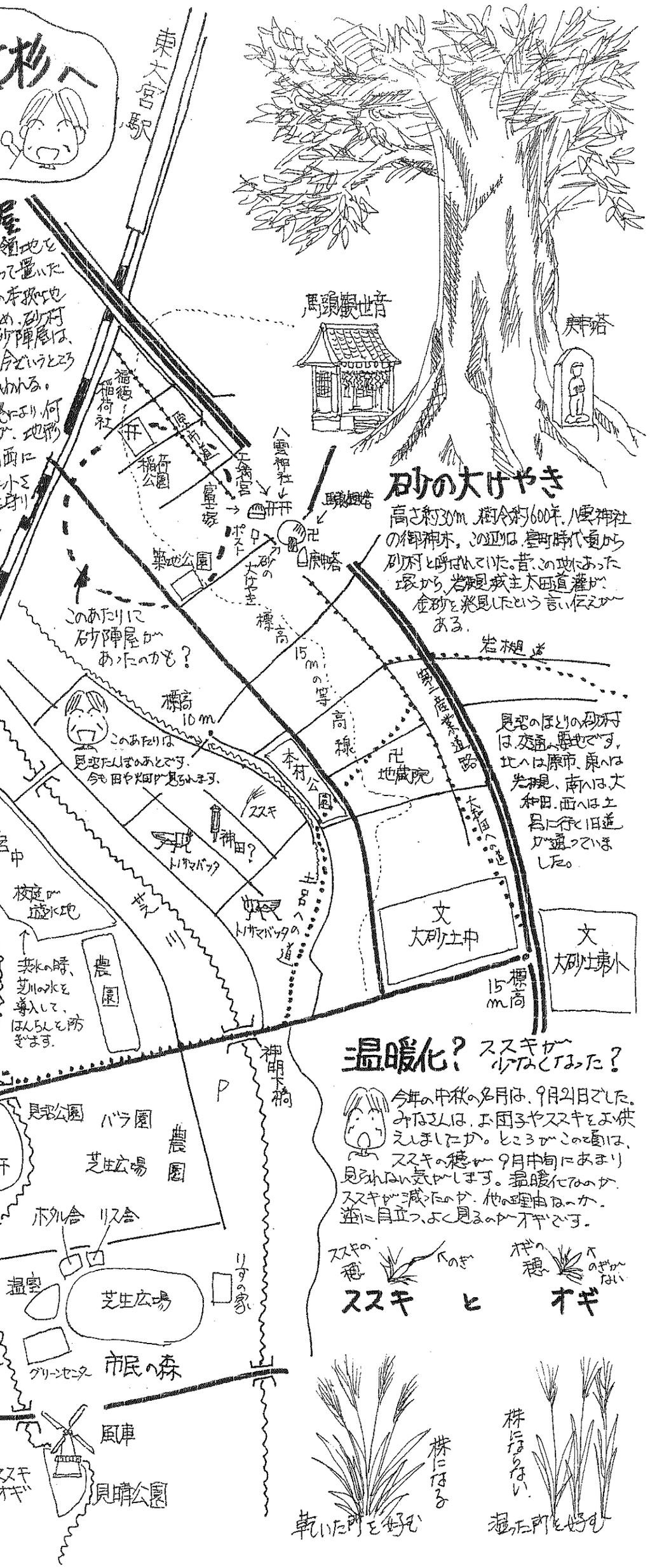
砂の大欅から土呂の大杉へ

西尾吉坂が望んだ秋の見沼を歩こう

2021.9.19 調査　小川 浩



西尾吉坂 1530～1606

三河の国の名門、吉良家（足利御一家）に生まれる。子供の頃は、隣国織田家の人質として過ごす。桶狭間などを経て、織田信長の家来となる。後に安土城築城の石奉行をつとめる。本能寺の変の時には、徳川家康の接待役をつとめていた。吉坂はこの時、大坂の堺にいた家康が本国に帰る手伝いをして伊賀越えに同行し、その後、家康の家来になる。1590年家康がエドに入ると、武州原市（現在の岩槻市）に5000石を賜り、隠岐守に任じられる。原市の妙蔵寺には、吉坂が信長から賜ったくらやよろいがあり、県の文化財に指定されている。

砂陣屋

西尾吉坂が領地を治めるにあたって置いた屋敷。吉坂の手柄地は、原市のため、砂村におかれた砂陣屋は、代官屋敷（今でいうところの支所）と思われる。現在は開発により何も残ってないが、地形からみると、南西に見沼、北西に小さな谷を用した守りを備えたものと考えられる。

砂の大けやき

高さ約30m、樹令約600年、八雲神社の御神木。この辺りは室町時代頃から砂村と呼ばれていた。昔、この地にあった塚から、岩槻城主太田道灌が金砂を発見したという言い伝えがある。

トノサマバッタ

殿様飛蝗

イネ科の植物を好み草原にすんでいる。時に肉食もする。大きな足でジャンプして、羽ではばたいて、長い距離を飛行する。見沼田んぼでは農道でよく見られる。バッタツリのやり方で捕まえることもできる。

バッタいろいろ

ショウリョウバッタ
ホンブバッタ
コバネイナゴ
ヒシバッタ

見沼の野草いろいろ

セイヨウオナモミ　マメアサガオ　アレチウリ　ススキ
シロバナセンダングサ　キンガヤツリ　カナムグラ　オギ
キンエノコロ　アキノノゲシ　ヤエムグラ

温暖化？ ススキが少なくなった？

今年の中秋の名月は、9月21日でした。みなさんは、お団子やススキをお供えしましたか。ところがこの頃は、ススキの穂が9月中旬にあまり見られない気がします。温暖化なのか、ススキが減ったのか、他の理由なのか、逆に目立つ、よく見るのがオギです。

ススキ と オギ